

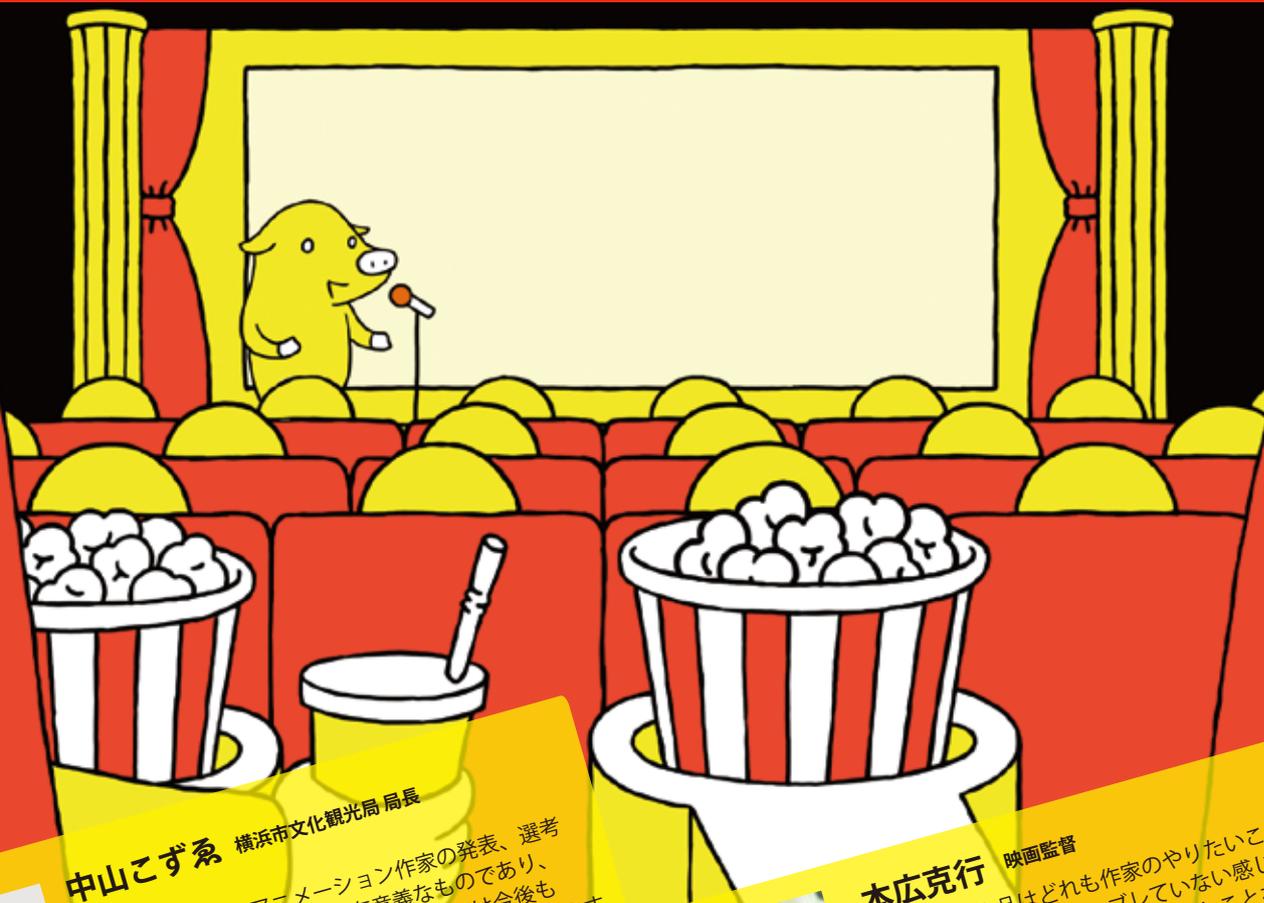
若手アニメーション作家支援プロジェクト

HAG

Handmade Animation Grand Prix

ハンドメイド・アニメーション・グランプリ

HAG2015 ご協賛企業様 資料



中山こずゑ 横浜市文化観光局 局長

才能のある、若いアニメーション作家の発表、選考の場として、HAGはとて有意味なものであり、文化芸術創造都市を標榜する横浜としては今後とも効果的に使い、新しい出会いや発見がある街、横浜の魅力がダイナミックに伝わり、わくわくします。今後の活躍に期待大です！

本広克行 映画監督

受賞した5作品はどれも作家のやりたいことが明確に表現されていて、ブレていない感じが印象的でした。初めにやろうと決めたことを最後まで地道にやり抜くのはプロでも骨が折れるのだから、どの作品もその苦勞を感じさせないのだろうと、きっと皆さん楽しみながら制作していたのだろうと思います。アイデアを映像にする手法として、アニメーションはいちばん自由度が高い反面、いちばん手間暇がかかります。その手間をいっしょに作り続けて欲しいと思います。そして観る人を楽しませる作品を作り続けて欲しいと思います。

Message from
HAG2014
メイン審査員

主催：株式会社ロボット
共催：横浜市文化観光局
協力：イオンエンターテイメント株式会社



AEON ENTERTAINMENT CO.,LTD.



ROBOT
COMMUNICATIONS, INC.

はじめに

2013年12月、全国にイオンシネマを展開するイオンエンターテイメントと、映画・アニメーション・TV-CMなどあらゆる映像のノウハウを持つROBOTが共同主催で発足した若手アニメーション作家育成・支援プロジェクト『HAG（ハンドメイド・アニメーション・グランプリ）』。共催に、文化芸術創造都市づくりに取り組む横浜市文化観光局も名を連ね、公民一体となり、アニメーション作家・クリエイターの育成支援に取り組んでいます。

日本のショートアニメーションには、世界的に優れた作品が数多く存在します。しかし、その多くは興行もされず、上映の機会も乏しく、Webサイトでの無料公開がほとんどです。そのため、アニメーション作家として、生計を立てるのが難しいのが現状です。そのような若手作家に、上映のチャンスを与え、かつ、作品のビジネス化をバックアップするために、HAGは発足されました。

HAGのグランプリは、若手アニメーション作家の皆さんに、全国のイオンシネマを作品発表の場として、活躍していただくコンペティションです。このグランプリの最大の特徴は、『**賞品が仕事である**』こと。受賞者は、実際に仕事として、作品を制作し、それがイオンシネマで上映されます。

2014年のお題は、『イオンシネマのマナーCM』と『映画館にまつわるショートストーリー』。

各部門のグランプリ作品が決定し、実際に作品が制作されました。

（イオンシネマのマナーCMは2016年2月末まで全国のイオンシネマにて上映中。）

HAG2014は、前述の2つの部門以外にも、共催の横浜市文化観光局による『横浜賞』の設定。そして、自社のCM制作を受賞者に依頼する企業賞も追加され、全部で5名の作家に仕事を依頼することができました。

HAGはこれからもコンペティションによる新たな才能の発掘、ビジネスマッチングによる仕事の創出を行い、若手クリエイターの育成・支援を行っていきます。

賞品 = 仕事

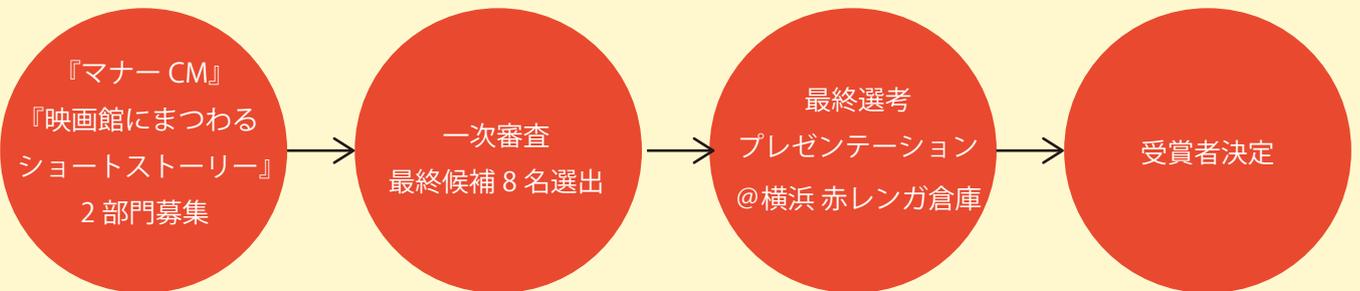


HAG2014

HAG2014、第一回目のコンペティションには 81 作品の応募があり、企画書や画コンテによる一次審査、そして横浜 赤レンガ倉庫にて開催された、一般公開型の最終選考プレゼンテーションを経て、グランプリ含む 5 名の受賞者を決定いたしました。

HAG2014 から生まれた 5 つの作品は 2015 年 1 月より、全国のイオンシネマ（横浜賞のみ関東限定）で順次、上映されています。

● HAG2014 受賞者決定までの流れ



● HAG2014 各賞の詳細

賞名	スポンサー企業様	制作内容 / 上映期間
イオンエンターテイメント賞 (『マナー CM』 部門 グランプリ)	イオンエンターテイメント株式会社	イオンシネマ 2015 年度マナー CM 2015 年 3 月 28 日 (土) ～2016 年 2 月 26 日 (金)
イオングループ賞 (『映画館にまつわるショートストーリー』 部門 グランプリ)	株式会社ソニー・コンピューター エンタテインメント	映画館にまつわるショートストーリー 2015 年 2 月 28 日 (土) ～2015 年 3 月 27 日 (金)
横浜賞	横浜市 文化観光局	横浜市 プロモーションムービー 2015 年 3 月 28 日 (土) ～2015 年 6 月 20 日 (土) ※関東圏のみで上映
日本 IBM 賞	日本アイ・ビー・エム株式会社	日本 IBM CM 2015 年 1 月 31 日 (土) ～2015 年 2 月 27 日 (金)
ジェットスターグループ賞	ジェットスターグループ	ジェットスター・グループ CM 2015 年 3 月 28 日 (土) ～2015 年 4 月 24 日 (金)

①イオンエンターテイメント賞 (『マナー CM』 部門グランプリ)

なほちかはるこ

1986 年生まれ。大阪大学外国語学部ハンガリー語専攻卒業後、イラストレーターとして白水社『ニューエクスプレスハンガリー語』『イタリア語発音トレーニング』等の教材イラストやイベントポスターを描く。ハンガリーのアニメーションに魅了されて留学し、ケチケメートスタジオでドローイングアニメーションを学んだ。「なほちか」は当地のあだ名。ハンガリー語で「ちいさなお日さま」を表す。紙の手触りが好きでストップモーションに興味を抱き、現在独学で勉強中。初の商業作品『コルヴィン・シネマ』はブダペストにある同館で 2012 年 3 月から上映された。

イオンシネマ マナー CM 『パニックスクリーン』 (90 秒)



②イオングループ賞 (『映画館にまつわるショートストーリー』 部門グランプリ)

若井 麻奈美

1989 年 神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。2013 年に「コーポにちにち草のくらし」で沖縄国際映画祭クリエイターズファクトリーにて特別賞、TBS DegiCon6 にて優秀賞、韓国の PISAF にて韓国漫画アニメーション学会賞などを受賞。

2013 年より中内友紀恵、いよりさきとともに ANIME SAKKA ZAKKA の企画・運営も行う。

映画館にまつわるショートストーリー 『ポップコーンは映画鑑賞がしたかった』 (3 分)



③横浜賞

奥田 昌輝

1985 年横浜市生まれ。2009 年多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業。2011 年東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修士課程修了。多摩美術大学在学中にアニメーション制作を始め、東京藝術大学入学後制作した「くちやお」がアニマドリッド (スペイン) の学生部門グランプリ、ファントーシュ (スイス) の新人賞を受賞した他、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門に入選するなど、国内外の映画祭での上映多数。

現在、フリーランスのアニメーション作家、イラストレーターとして活動しており、映画のタイトルアニメーションや教育番組のアニメーションなどを手掛けている。

横浜市プロモーションムービー 『あうたびに、あたらしい Find Your YOKOHAMA』 (30 秒)



④ジェットスター・グループ賞

鈴木 剛

愛知県生まれ。幼少から映画に親しみ、高校時代には地元のミニシアターで8mm映画機材を借り、同級生と映画を制作する。武蔵野美術大学で3DCGアニメーションを学び、特にカメラワークにこだわった作品を制作した。IAMASに進学、卒業後も研究員として地理情報をベースにした様々なVRコンテンツの制作に従事する。プロジェクションマッピングやkinect,oculus liftなどのデバイスを用いたコンテンツにも3D演出で参加する。現在は専門学校で講師をしながらフリーで活動中。尊敬する映像作家はピエトロ・ジェルミ。

Jetstar Airways CM『スカイダイビング』篇 (30秒)



⑤日本 IBM 賞

古山 俊輔

広島県出身。広島市立大学大学院芸術学研究科修了。アートアニメーションに出会い、映像の美しさ動きに感銘しアニメーターとなる。大学在学中に世界のアニメーションに触れるため渡英。2年間のフリーランスアニメーターを経て再び渡英。英国にてモンティ・パイソン短編アニメーション映画にストップモーションアニメーターとして参加。帰国後、アニメーション・ディレクターとして仕事のかたわら個人作品も制作。自分が見たい風景や空想を映像化し、作品を制作している。

日本 IBM CM『ぼくの記憶と記録』篇 (30秒)



伊藤有幸 アニメーション・ディレクター

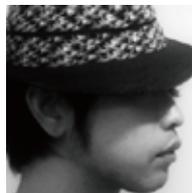
「仕事が賞金！」という、今までに無いリアルな映像コンペ「HAG」。企画プレゼンで勝ち抜いた若い才能たちはそれぞれに自分の作品にはのびのび注いだ自身のエネルギーを「クライアントワーク」を前に相当戸惑い、苦悶しながら最終形

に仕上げたようだ。そう、これでいいのだ！！

作品って、人と出会って届いて初めて完成する。横浜のプロモーションムービーに取り組んだ奥田くんは横浜市文化観光局の方とやりとりの末これでもかって程、得意なメタモルフォーゼを駆使して町のイメージを映像詩に仕上げ、若井君は究極シンプルラインのイラストがミクスメディアと佐野史郎さんの声の力で肉付けがしっかりできて何度も鑑賞できる強度を手に入れた。なぼちか君はお金の動きもふくめた「プロ」の映像制作フローに目をパチクリさせながら、独自のカットアウト技法をさらにレベルアップ！ミラクルな映画館マナームービーを作り上げた！そう、彼らはそのクリエイションに、社会とコミュニケーションできる「強度」を身につけたのだ。

これにまさる賞品はないんじゃないかな？

HAGが育てた才能たちが、さらに大きくジャンプするのが楽しみじゃないか！



YK BX ディレクター/アートディレクター アーティスト

実際のCMとして受賞者が作ったものが流されることが決まっている、コンペティションという事でより現実的な目線で、批評が行われたように思えます。

また、CMを実際作っていく過程では、フリーランスなどで仕事をこなしていく中で掴み取っていくノウハウなどが、実際活躍されている作家の方々から有用なアドバイスを都度仰ぐ形で進んで行くという工程がある事で身につく、新人の作家の方達にとっては、とても良い経験になったのではないのでしょうか。僕も審査をさせていただく中で、色々刺激にもなりました。ありがとうございました。

Message from HAG2014 メイン審査員

マッチング事例

日本アイ・ビー・エム株式会社様と映像作家 古山俊輔さんの場合



IBM が取り組んでいる、
高度で先進的なテクノロジー技術を
わかりやすく、より広く伝えたい。



映像作家 古山俊輔さん

『何か新しいことをしたい。』
という思いから、HAG に応募

●日本 IBM 賞 受賞者決定から映像完成までの流れ

2014年8月7日	最終選考プレゼンテーション 日本 IBM 賞決定
2014年9月	オリエン内容検討
2014年10月	オリエンテーション
	<p>社会を IT で良くしていこう としている会社だという理解が 一層深まりました。 (古山俊輔)</p>
2014年11月 ～2015年1月	企画提案 ～映像制作作業
	<p>オリエンでの説明に沿い、かつ 分かりやすく、感情のこもった ものが一度で出てきたのには とても感動しました。 (日本 IBM ご担当者様)</p>
	<p>苦労は一つもなかったです。 (古山俊輔)</p>
2015年1月上旬	映像完成
2015年1月31日～2月28日	全国イオンシネマにてスクリーン上映

HAG2014 最終選考プレゼンテーション実施風景

横浜赤レンガ倉庫を舞台に、8名の最終候補者による公開プレゼンテーション、そして作品展示が行われました。当日は豪華なメイン審査員の方々にもお越しいたご、厳正な審査の結果、受賞者を決定いたしました。

プレゼンテーション終了後は、関係者と候補者による懇親会が行われ、様々なつながりが生まれました。



大型スクリーンを使用し、200人規模の会場でプレゼンテーション



審査員からの質疑応答



グランプリ受賞者の商品は、制作費300万円のお仕事



原画や普段の活動・作品を見られる展示スペース



受賞者決定後の懇親会の様子

HAG2014 最終選考プレゼンテーション実施概要

日時：2014年8月7日（木） 13:30～17:00

会場：横浜 赤レンガ倉庫 1号館 3F ホール

【最終選考候補】

『マナー CM』部門 4名 / 『映画館にまつわるショートストーリー』部門 4名

【ゲスト審査員】

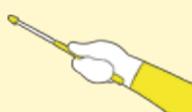
本広克行（映画監督）・伊藤有希（アニメーション・ディレクター）

YKBX（映像クリエイター）・中山こずゑ（横浜市文化観光局長）

HAG2015

● HAG2015 スケジュールイメージ

●…ご協賛企業様

6月	7月	8月	9月	10月	
<ul style="list-style-type: none"> ●協賛企業誘致 ●次年度実施発表 ●【下旬】横浜賞 課題発表・募集スタート 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業賞課題検討 ●【下旬】課題発表 募集スタート <small>※各企業様、独自の課題を設定</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●【月末】募集締切り 第一次審査 最終候補者発表 	<ul style="list-style-type: none"> ●【上旬】募集締切 第一次審査 最終候補者発表 ●【下旬】プレゼン ●【下旬】プレゼン 受賞者決定 ~企画ブラッシュアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●【上旬】受賞者決定 ~企画ブラッシュアップ ●【中旬】制作スタート 	<ul style="list-style-type: none"> ●【上旬】制作スタート
12月	2016年1月	2月	3月	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>上映期間に関して</p> <p>上映期間は、2月・6月・10月からお選びいただけます。 2016年3月以降のスケジュールやその他の期間の上映に関しては、別途、担当者までお問合せください。</p>  </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ●制作 ●制作 	<ul style="list-style-type: none"> ●【中旬】映像完成 1/31(土) 上映スタート ●【中旬~下旬】横浜賞 映像完成 	<ul style="list-style-type: none"> ●さめき映画祭 2016 HAG プログラムでの作品上映(仮) 2/26(金) 上映終了 			

ご協賛メニュー

オリジナルアニメーション 30秒CM制作

御社のオリジナル課題を元に企画を募集。
優秀な作家1名を選出し、30秒のオリジナル
アニメーションCMを制作致します。



全国イオンシネマ 全スクリーンで4週間上映

全国81箇所にあるイオンシネマの
全684スクリーンで4週間、
作品上映前に1回上映。

700万円~

制作費 350万
媒体費 350万~

※上記は税別の金額です。
※上映時期によって金額が異なる場合がございます。
※作品は御社HPなどのWEBサイト・他の媒体でもご使用いただけます。

主催：株式会社ロボット

共催：横浜市文化観光局

協力：イオンエンターテイメント株式会社

URL：http://www.robot.co.jp/special/hag/

Facebook：https://www.facebook.com/pages/HAG/509746765821859

【お問い合わせ先】

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 3-9-7 若手アニメーション作家支援プロジェクト事務局

MAIL：handmade@robot.co.jp